

自立活動学習指導案

日時: 令和〇年〇月〇日(〇)〇校時
 対象: 〇〇学級(〇〇障害学級)
 〇年〇名、〇年〇名、計〇名
 授業者: 〇〇〇〇

1 単元(題材)名

いろんな場面でナイスな行動!!

2 児童(生徒)について

	学習上・生活上の困難 及び本単元における児童の実態	強みやよさ
A 児	〇友達と関わりたい気持ちはあるものの、自分の意見だけを主張してしまうため、トラブルになりやすい。	〇かるた遊びなどの「数」で勝負するものに夢中になる。 〇発想が豊かで、授業中はよく発言している。 〇他者の気持ちを考えることが苦手だが、「なぜそうなったのか」という理由を考えることは得意である。
B 児	〇	〇

3 自立活動の短期目標及び具体的な指導内容

※「自立活動個別の指導計画」から転記する

	短期目標	関連する自立活動の 区分と項目	指導内容
A 児	①場に応じた、他者との具体的な関わりを考えることができる。 ②集団生活の中で、適切な行動をしていこうとする意欲の向上を図る。	3 人間関係の形成 (2)他者の意図や感情の理解に関すること 2 心理的な安定 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	〇自分の考えを伝えたり、相手の意図を受け止めたりする意欲を高める内容 〇他者に対しての関わり方を考える内容 〇自分に合った学習の方法を理解することができる内容
B 児	① ②		〇

4 単元(題材)設定の理由

本単元の目標は、学校生活において他者と関わる場面を想定して、その場に応じた「他者との具体的な関わり方」を考えることである。他者と関わる場面において、自分がとる行動には複数の選択肢がある。その中から場に応じて適切に判断し、その行動を適切に表現していくことが必要である。まずは、その複数の選択肢を考えること、どの行動を選択したらより適切なのかを考えられるようにするために本単元を設定した。

5 単元計画

次	時	指導目標	主な活動
第一次	1~2時	○いろいろな関わり方を考えてみよう(個別)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるかを考える。 ②考えたことについて、教師に説明する。
第二次	3~4時 【本時】 3時	○いろいろな関わり方を考えてみよう(教師と共に)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるかを考える。 ②本児と教師が書いたものについて、「同じ内容のもの」「違う内容のもの」に分ける。 ③「同じ内容のもの」「違う内容のもの」の中から、それぞれベストワンを決め、できそうなことを意識づける。
第三次	5~6時	○いろいろな関わり方を考えてみよう(小集団活動)	①ワークシートに表されたシチュエーションを基に、どのような関わり方ができるかを考える。 ②全員が書いたものを「同じ内容のもの」「違う内容のもの」に分ける。 ③自分が書いたもの、友達が書いたもので、それぞれベストワンを決め、その中でできそうなことを意識づける。

6 本時の授業

(1)本時の全体の目標

(2)本時の個別の目標

目 標	
A 見	○同じ場面において、他者への複数の関わり方があることを知る。 ○教師に対して自分の考えを伝えたり、教師の考えを受け止めたりする意欲を持つことができる。
B 見	○

(3)展開

	学習活動	対象	○全体への配慮事項 ◎個への配慮 ◇評価	教材
つか む ・ 見 通 す ○ 分	1 はじめのあいさつをする 2 前の時間にやったことの確認をする 3 本時の流れの確認をする 4 本時のめあてを確認する		○アイデアのよかったことをほめる ○前時と同じ付箋紙を使用した方法だということを確認する	☆ワー クシ ー ト ☆付 箋 紙

<p>活動する○分</p>	<p>5 個人で考える ワークシートに表されたシュチュエーションを基に、どのような関わり方ができるか考える</p> <p>6 付箋紙のカテゴリー分け ①自分が書いたものと、教師が書いたものを見比べ、「同じ内容のもの」「違う内容のもの」を分ける。 ②「同じ内容のもの」には小見出しを考える。</p> <p>7 ナンバーワン決め ①付箋紙の中から、以下の条件でどれがナンバーワンかを選ぶ。 ・いつもの自分がやること ・この方法もいいのかも ・やったら良くないもの ・やってみたいもの</p>	<p>○教師もアイデアをだすことで、たくさんアイデアを出そうという雰囲気をつくる。</p> <p>A 児 ◎発想の豊かさが活かせるよう、様子を見ながら声をかける。</p> <p>A 児 ◇意欲的に付箋紙に自分の考えを書いている。</p> <p>◎「違う内容のもの」の中から、いかもと思う内容を見つけ、どんなところが良いと思うのか等、枠を広げる関りをする。</p> <p>◎教師は傾聴の姿勢で、A 児の考えや思いを引き出せるようにする。</p> <p>◇いろいろな行動パターンの中で、選んだ理由についての考えや思いを話すことができる。</p>	<p>☆付箋紙 ☆画用紙2枚 ☆マジック</p>
<p>振り返る○分</p>	<p>8 感想を発表する</p>	<p>○本時の活動を振り返る視点を提示する。</p>	

(4) 板書計画

(5) 場の設定図

(6) 評価

児童・生徒の様子や評価項目		○・△	教師の手立て等について
A 児	・同じ場面でも、関わり方には複数あることがわかり、考え方を広げている。		※授業後に記入する(良かった手立てや改善点等)
B 児			